

セノグラフィ って、何だ？

8月29日に開催される6つの分科会に向け、伝統に対する視座と新たな知見を得るための講座とWSを公開。舞台美術、あるいはセノグラフィとは何かを考える。初心者の方を対象としたWS、専門家向けの報告、フィールドワークなどを組み合わせて討議にご参加ください。

「日本舞踊『鶯娘』の照明」

2015年8月22日(土) 13時～16時

日本舞踊は舞台美術の洗練と共に舞台照明の進歩により一層の完成度を実現するに至りました。衣裳から小道具、大道具のすべてが定式で整えられた舞台には、やはり定式の照明が必要とされます。『鶯娘』上演を通じ、狂言方の仕事も含めた定式の舞台、その世界観を検証します。

講師：北寄崎崇（元・国立劇場所属／舞台照明家／本学舞台芸術学科客員教授）

立方：若柳弥天 後見：若柳延祐

衣裳：小林衣裳 豊：かづら伴 小道具：小丸屋

狂言方：中田節 大道具：アルファ舞台

音響制作：塩崎篤

協力：若柳弥生

公開講座

「ギリシア演劇の舞台仕掛け～『Making the Scene』を読む」

2015年8月28日(金) 10時～18時 *途中休憩あり

研究会の重要参考書『Making the Scene A History of Stage Design and Technology in Europe and the United States』Oscar G.Brockett,Tobin Theatre Arts Fund, 2010の掲載図版から、今回はギリシア演劇の舞台仕掛け『メカネ(フライングの技術)』、『ペリアクトイ(三角柱を用いた転換)』などの模型による再現と実証実験に取り組みます。

モデレータ：杉山至(舞台美術家)、他

公開WS

「セノグラフィ・アーカイブ構想を語る－6つの分科会」

2015年8月29日(土)

9時30分：全体オリエンテーション

10時～12時：午前の部 14時～17時：午後の部

18時～20時：意見交換会

◆午前

- ①『ギリシア演劇の舞台仕掛け』前日のWS成果に関するディスカッション
- ②『プラハ・カドリエンナーレ2015調査報告』現地調査レポート
- ③『フィールドワーク&セノグラフィック』という観点を共有するためのフィールドワーク。

◆午後

- ④『フィールドワーク&セノグラフィックとは何か』を考えていくためのフィールドワーク。
- ⑤『舞台美術の歴史アーカイブ構想』経過報告
- ⑥『日本の舞台美術』『定式』と『景』に関して

公開研究会

参 加 料 無料(要事前申込み)

会 場 京都芸術劇場 春秋座

参加申込み kyoten@kuad.kyoto-art.ac.jp メール、
または裏面の申込み用紙をご利用ください。
件名：セノグラフィアーカイブ研究会
本文：氏名(フリガナ)、連絡先(メール又は電話番号)、
参加日時、参加者数を記入してください。
※8月29日(土)開催の分科会は参加希望の分科会番号もご記入ください。

問 合 せ 京都造形芸術大学
共同利用・共同研究拠点事務局(舞台芸術研究センター内)
tel.075-791-9144(平日10時～17時)
fax 075-791-9438

*内容は変更になる場合がございます。

詳細はウェブサイトをご参照ください。 <http://www.k-pac.org/kyoten/information/>

主催：文部科学省 共同利用・共同研究拠点 京都造形芸術大学 <舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点> 2015年度共同利用プロジェクト「セノグラフィの歴史アーカイブ構想」研究会(研究代表者：若柳延祐)
「舞台芸術の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点」は、京都造形芸術大学・舞台芸術研究センターが母体となり、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」の認定を受けて2013年度に設置された研究拠点です。

京都造形芸術大学 共同利用・共同研究拠点事務局(舞台芸術研究センター内) <http://www.k-pac.org/kyoten/>
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 TEL.075-791-9437(平日10時～17時) 担当：竹宮

- JR・近鉄京都駅京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車(徒歩約10分)

*駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はお断りいたします。

共同
利用

共同
研究